

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
前潟地区に新設する焼却施設への要望について	昨今、人体への影響が取りただされているマイクロプラスチックは、呼吸を通じて人体に入り込む恐れがあると考えられているようですが、新設予定の施設の煙突には、性能の高い集塵装置などは取り付けられるのでしょうか。煙突の高さが59mと発表されましたが、煙突は現代の技術をもってすればもっと高くすることも可能かと思います。風下が盛岡市民の住居になると思いますので、万全を期した設計施工でお願いしたいです。	ごみの焼却処理に伴う排出ガスについては、住民にとってより安全・安心な施設とするため、技術的に可能で合理的な範囲で、法令に定められた基準値より厳しい自主基準値を設定することとしており、ばいじんを除去する集塵装置（バグフィルタ）や有害物質を除去するための設備を設けるなどにより対策を取ることとしております。 マイクロプラスチックについては、「環境中に流出したプラスチックごみが、紫外線や波浪などの影響により自然環境中で破碎・細分化されることで、マイクロプラスチックになる。」とのことであり、資源化可能なプラスチックは資源化し、資源化が困難なものについては、適正に処理を行うとともに、不法投棄の監視も行うことで、環境中に流出させないことが、社会全体の取組として重要と考えております。 また、煙突の高さについては、周辺への排ガスの影響、景観性及び経済性などを総合的に評価して設定しており、専門家等で組織する施設整備検討委員会の意見を踏まえ、59メートルの煙突高であれば物質が遠く拡散されるため、周辺への影響は少ないものと評価し設定したものです。 なお、現在、盛岡広域環境組合では、新ごみ焼却施設の整備に係る環境影響評価の手続の中で、施設整備による環境への影響についての評価や対応の検討を行うこととしており、調査・予測・評価などの情報を公表しながら、安全・安心な施設を目指していくこととしております。	環境部 廃棄物対策課
0歳児から2歳児の保育料無償化について	現在、盛岡市では3歳児からの保育料が無償化となっていますが、県内の他自治体では0歳児から2歳児も無償化となっているところもあります。 同じ県内で、最低賃金は同じはずなのに、保育料がかかる地域とかからない地域があるのは納得がいきません。物価高の状況や子育ての不安に苦悩しているのも皆一緒かと思えます。 どうか早急に、盛岡市でも0歳時から2歳児の保育料無償化を実現していただきたいです。	市では、0歳児から2歳児の第2子以降の保育料について、令和2年度から世帯年収550万円相当未満世帯を対象に無償化を実施し、さらに5年度からは、世帯の年収要件を撤廃し、無償化の対象拡大を実施してきたところです。 岩手県内においては、第1子を対象に保育料の軽減を行っている自治体は、6年度時点で、33市町村のうち14市町村となっておりますが、本市においては、施策の優先度により、第1子に対する無償化の実施は難しい状況です。 いただいた御意見につきましては、子育てにおける経済的負担への支援に係る貴重な御意見として、本市が今後施策を進めていく上での参考とさせていただきたいと存じます。 今後におきましても、保護者の皆様の御意見を伺いながら、子育てしやすく、子育てに優しいまちづくりに取り組んでまいります。	子ども未来部 子育てあんしん課

市長への手紙

－ 市民の意見箱 －

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
中学校弁当世帯への補助について	物価高で値上がりした給食費の一部を補助するとのことですが、弁当を持たせている世帯も同じように影響を受けています。市内の小中学生全員の負担が軽減されるような補助をお願いします。	この度の学校給食に係る補助は、栄養や量を十分に満たした学校給食を今後も安定的に提供することを目的に実施するものです。このため、補助金は、個々の家庭に支給するのではなく、給食を作る調理場に対して、必要な食材費の購入に充ててもらうために交付するもので、結果として、一定の保護者負担の軽減につながるものと考えています。 また、牛乳のほか、選択式であるランチボックス給食についても、献立の作成や食材の購入を担当している運営協議会に対して補助を実施することとしており、急激な値上げを防ぐことができるものと考えています。 なお、ランチボックス又は弁当を自由選択としている学校においては、その利用状況が家庭により異なることなどから、弁当持参の御家庭も含めた支援は難しいものと考えたところであり、物価高騰下における各家庭の厳しい状況は承知しておりますが、何とぞ御理解をいただきますようお願いいたします。	教育委員会 学務教職員課
L E D 化の推進について	令和 9 年末までに蛍光ランプの製造・輸入が終了することから、一般家庭の L E D 化を進める必要があると思うので、助成金を支給するなどの対応を検討してほしいです。また、市の施設の L E D 化も進めてほしいですが、工事に伴う休館等が心配です。	照明器具の L E D 化につきましては、市としてもかねてより普及啓発に努めており、令和 6 年 1 月から 2 月にかけて家庭用照明 L E D 化キャンペーンを実施し、住宅内の蛍光灯の L E D 化などの支援を行いました。 家庭用照明器具の L E D 化に対する新たな助成等については、現時点では実施の予定はありませんが、今後もこれまで以上に、L E D 照明器具の普及と必要性について周知・啓発に努めてまいります。 なお、市有施設における L E D 化は、令和 7 年度以降計画的に進める予定であり、L E D 化の工事等については、各施設を利用される市民の皆様に影響が生じないよう、十分に配慮しながら進めてまいります。	環境部 環境企画課

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
広域ごみ処理場建設について	広域ごみ処理場の建設を、白紙撤回してほしいです。 現在の予定地は雫石川に近く、被災する可能性を考慮すれば、ごみ処理場が分散していた方が災害対策の面で優れています。また、現在も周辺は渋滞していますが、これが更に悪化することも予想されます。加えて、遠くからのごみの運搬には時間がかかりますし、入場時の渋滞も予想されるので、効率的ではないと思います。 人口も減少しているので、ごみの量も減るはずです。計画を見直してほしいです。	盛岡広域 8 市町は、老朽化が進む圏域の焼却施設の更新に係る財政負担の低減化など、効率的なごみ処理体制の確立を目的として、平成27年に「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想（以下「基本構想」という）」を策定いたしました。この構想では、既存 6 施設を 1 施設に集約化して整備することにより、6 施設をそれぞれに整備する場合よりも、8 市町の負担額が「26％」低くなると試算しており、以後、1 施設集約化に向けて取り組んでいるものです。 新たなごみ焼却施設の整備予定地については、浸水想定区域ではありませんが、今後の施設整備の検討において、災害への対策を検討し「災害に強い施設」を目指すこととしております。 渋滞については、搬入時間は渋滞時間を除いて設定することとしております。なお、現段階の推計では、収集車や一般搬入車両の合計で 578 台／日増加すると算定しており、国道46号の交通量調査では前潟一丁目で 25,032 台／日となっていることから、2％程度の増加と見込んでおります。現在、実施している環境影響評価の中でより詳細な推計を行い適切な対策を講じていくものです。 また、新施設までの収集運搬距離が延伸する地域の収集運搬については、中継施設を設けて、一定規模の車両に積み替えて運搬することで、収集運搬効率を確保することとしております。 盛岡広域圏においても、人口減少が進み、市町単独でのごみ処理施設の運営が厳しくなることが予測されていることから、効率的で環境負荷の低減化が図られた処理体制を確立することが必要となっております。盛岡広域 8 市町は、その対応のため、盛岡広域環境組合を設置し、新たなごみ焼却施設の整備を進めており、令和14年度の稼働を目指しているものです。	環境部 廃棄物対策課
道路の補修等について	市内中心部の道路や白線は整備されていますが、中心部以外では長年整備されていない地域があるので、事故が起きないか心配です。早期に道路や白線の整備をお願いします。	舗装及び白線ライン等の道路の維持管理につきましては、限られた予算で対応している状況でございます。事故等につながる危険性の高いものから順次に対応しておりますので、御理解くださいますようお願い申し上げます。 なお、盛岡市のLINE公式アカウントより、市道の修復等が必要な箇所を画像付きで位置情報とともに正確に通報することが可能となっておりますので、具体的な情報を提供いただければ幸いです。	建設課 道路管理課

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
中学校の給食の補助について	物価高騰対策として中学校の給食費の一部を補助するとのことですが、弁当を持たせている家庭も影響を受けているので、給食・弁当にかかわらず平等に補助してほしいです。	この度の学校給食に係る補助は、栄養や量を十分に満たした学校給食を今後も安定的に提供することを目的に実施するものです。このため、補助金は、個々の家庭に支給するのではなく、給食を作る調理場に対して、必要な食材費の購入に充ててもらうために交付するもので、結果として、一定の保護者負担の軽減につながるものと考えています。 また、選択式であるランチボックス給食についても、献立の作成や食材の購入を担当している運営協議会に対して補助を実施することとしており、急激な値上げを防ぐことができるものと考えています。 このほか、ランチボックスを実施している中学校においては、牛乳代についてもランチボックス・弁当持参にかかわらず、一律に補助を実施することとしております。 なお、ランチボックス又は弁当を自由選択としている学校においては、その利用状況が家庭により異なることなどから、弁当持参の御家庭も含めた支援は難しいものと考えたところであり、物価高騰下における各家庭の厳しい状況は承知しておりますが、何とぞ御理解をいただきますようお願いいたします。	教育委員会 学務教職員課
小中学生のジャージの名前について	防犯対策として小学生は名札を学校に置いて帰る、中学生はネームプレートをはっきり返して見えないようにするなどしているようですが、ジャージの名前が表から見える学校が多いと思います。保護者同士でも名札との矛盾が話題になりますが、刺繍など、それぞれの希望性にして、落とし物などの対策は、個人の責任で良いのではないのでしょうか。	近年、防犯上の観点から、学校外では名札やネームプレートを着用しない、ジャージに名前の刺繍を入れない学校が増えております。一方で、学校生活上必要と考え、ジャージに名前の刺繍を入れている学校もありますが、児童生徒や保護者の意向を踏まえて個別に配慮した対応をとっております。 今回の御意見を受け、改めて各学校において防犯の観点も考慮しつつ、ジャージの刺繍について検討するよう助言してまいります。	教育委員会 学校教育課